



彩の国
埼玉県

埼玉県鉱工業指数年報

令和2年（2020年）基準

令和7年（2025年）



埼玉県マスコット「コバトン」「さいたまっち」

令和8年（2026年）8月発行

埼玉県総務部統計課

1 令和7年(2025年)の鉱工業総合指数の概要

○総合指数の動向

<生産>

生産指数は106.4で、対前年比は+1.0%、2年ぶりの上昇となりました。

<出荷>

出荷指数は102.1で、対前年比は-0.8%、2年連続の低下となりました。

<在庫>

在庫指数は101.5で、対前年比は-0.5%、4年ぶりの低下となりました。

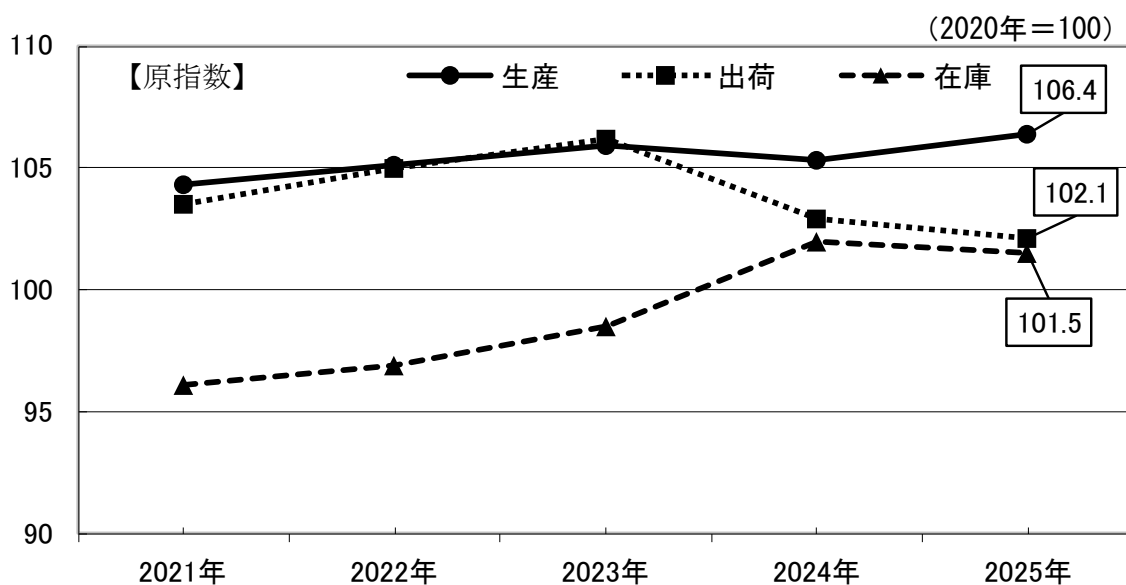
<在庫率>

在庫率指数は124.8で、対前年比は-70.1%、4年ぶりの低下となりました。

		(2020年=100) 原指数				
生産	指数	2021年	2022年	2023年	2024年	2025年
	増減率(%)					
出荷	指数	104.3	105.1	105.9	105.3	106.4
	増減率(%)	4.3	0.8	0.8	▲ 0.6	1.0
在庫	指数	103.5	105.0	106.2	102.9	102.1
	増減率(%)	3.5	1.4	1.1	▲ 3.1	▲ 0.8
在庫率	指数	96.1	96.9	98.5	102.0	101.5
	増減率(%)	▲ 1.8	0.8	1.7	3.6	▲ 0.5
在庫率	指数	93.5	98.8	114.7	416.8	124.8
	増減率(%)	▲ 6.5	5.7	16.1	263.4	▲ 70.1

※ 年別は原指数による。増減率は対前年比。

○総合指数の推移



2 鉱工業総合指数の四半期別の概要

○総合指数の動向

<生産>

第1四半期は上昇、第2四半期及び第3四半期は低下、第4四半期は上昇となっています。

<出荷>

第1四半期は上昇、第2四半期は低下、第3四半期及び第4四半期は上昇となっています。

<在庫>

第1四半期及び第2四半期は低下、第3四半期は上昇、第4四半期は低下となっています。

<在庫率>

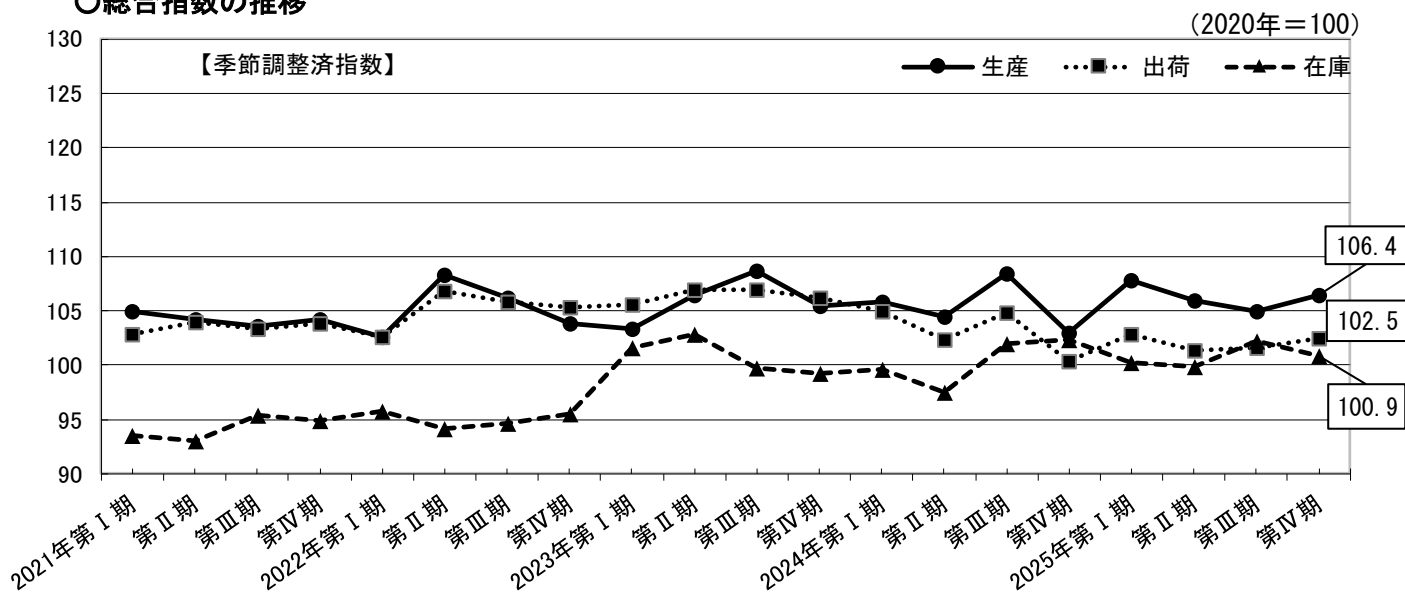
第1四半期及び第2四半期は低下、第3四半期は上昇、第4四半期は低下となっています。

(2020年=100) 季節調整済指数

		2025年			
		第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期
生産	指数	107.8	106.0	104.9	106.4
	増減率(%)	4.7	▲1.7	▲1.0	1.4
出荷	指数	102.9	101.3	101.6	102.5
	増減率(%)	2.6	▲1.6	0.3	0.9
在庫	指数	100.2	99.9	102.2	100.9
	増減率(%)	▲2.1	▲0.3	2.3	▲1.3
在庫率	指数	123.3	121.9	126.7	126.2
	増減率(%)	▲10.0	▲1.1	3.9	▲0.4

※増減率は対前期比。

○総合指数の推移



3 上昇・低下に寄与した主な業種・品目

<生産>

輸送機械工業、化学工業など11業種が上昇し、食料品工業、プラスチック製品工業など12業種が低下しました。

<出荷>

化学工業、食料品工業など14業種が低下し、輸送機械工業、汎用機械工業など9業種が上昇しました。

<在庫>

生産用機械工業、輸送機械工業など11業種が低下し、情報通信機械工業、電子部品・デバイス工業など10業種が上昇しました。

(1) 生産 (2020年=100) 原指数

		業種	2024年	2025年	増減率(%)	主な品目
上昇	11業種	輸送機械工業	151.0	168.0	11.3	航空機用部品、乗用車、自動車エンジン
		化学工業	105.7	108.4	2.6	医薬品、印刷インキ、ウレタンフォーム
		汎用機械工業	113.9	118.0	3.6	コンベヤ、空気圧機器、スチールチェーン
低下	12業種	食料品工業	100.6	96.7	▲3.9	チョコレート類、アイスクリーム、ビスケット類
		プラスチック製品工業	118.5	112.5	▲5.1	プラスチック製容器、プラスチック製フィルム、発泡プラスチック製品
		印刷業	79.9	75.0	▲6.1	平版印刷(オフセット印刷)、おう版印刷(グラビア印刷)、とっ版印刷(活版印刷)

(2) 出荷

		業種	2024年	2025年	増減率(%)	主な品目
上昇	9業種	輸送機械工業	118.5	131.3	10.8	乗用車、航空機用部品、自動車エンジン
		汎用機械工業	116.1	118.6	2.2	空気圧機器、コンベヤ、スチールチェーン
		業務用機械工業	116.3	118.0	1.5	パチンコ、スロットマシン
低下	14業種	化学工業	112.5	106.9	▲5.0	医薬品、化粧品、ビタミン含有保健剤
		食料品工業	96.2	93.6	▲2.7	アイスクリーム、チョコレート類、炭酸飲料
		鉄鋼業	93.6	85.0	▲9.2	普通鋼小形棒鋼、粗鋼、冷間ロール成型形鋼

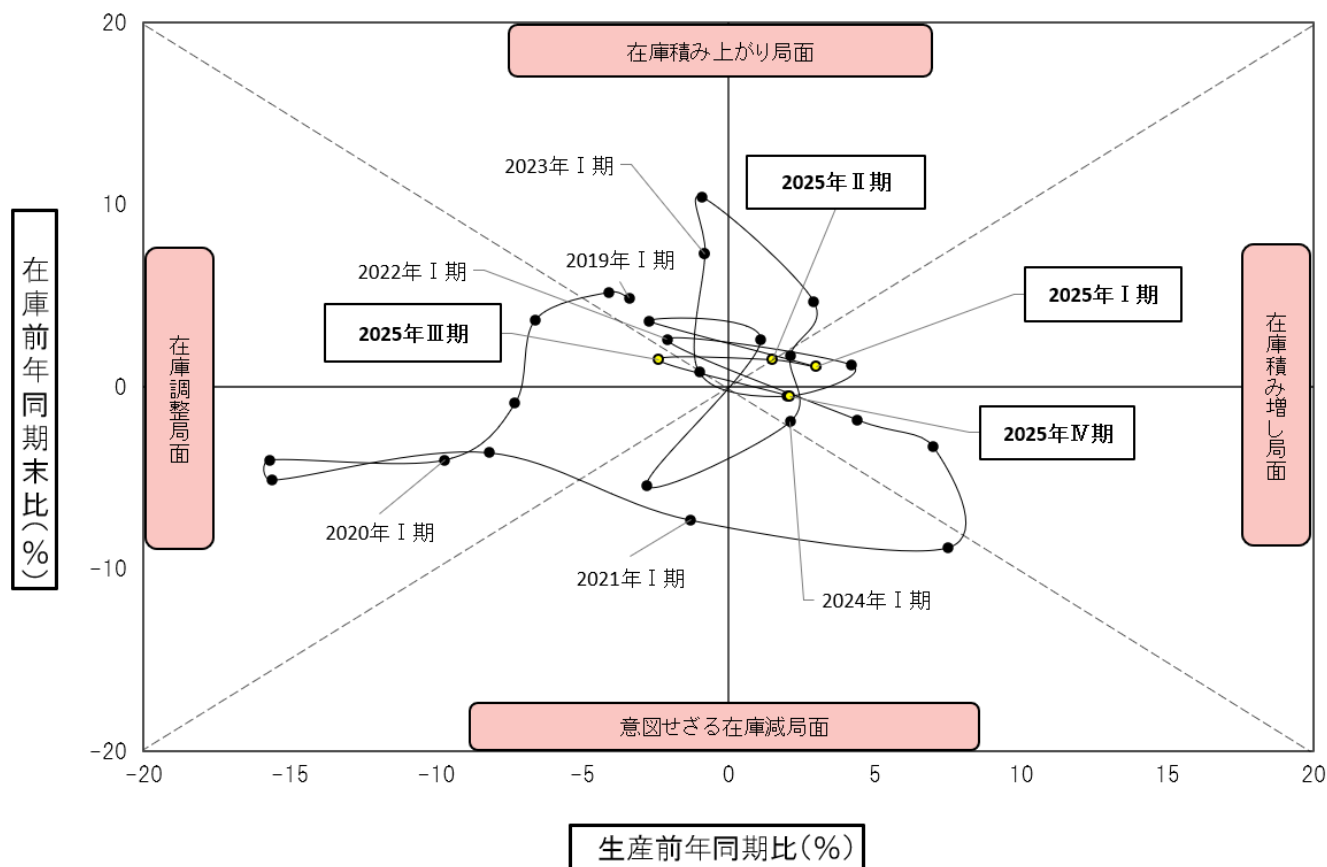
(3) 在庫

		業種	2024年	2025年	増減率(%)	主な品目
上昇	10業種	情報通信機械工業	152.1	218.3	43.5	金銭登録機(端末機能付)、ガス警報器
		電子部品・デバイス工業	83.1	116.7	40.4	混成集積回路、サーミスタ、整流素子
		窯業・土石製品工業	84.5	96.3	14.0	コンクリート系パネル、セメント、遠心力鉄筋コンクリート管
低下	11業種	生産用機械工業	93.0	65.7	▲29.4	整地機械、研削盤、食料品加工機械
		輸送機械工業	121.6	74.3	▲38.9	乗用車、普通トラック、けん引車
		金属製品工業	82.7	61.0	▲26.2	スチール製缶、スチール・ステンレスドア

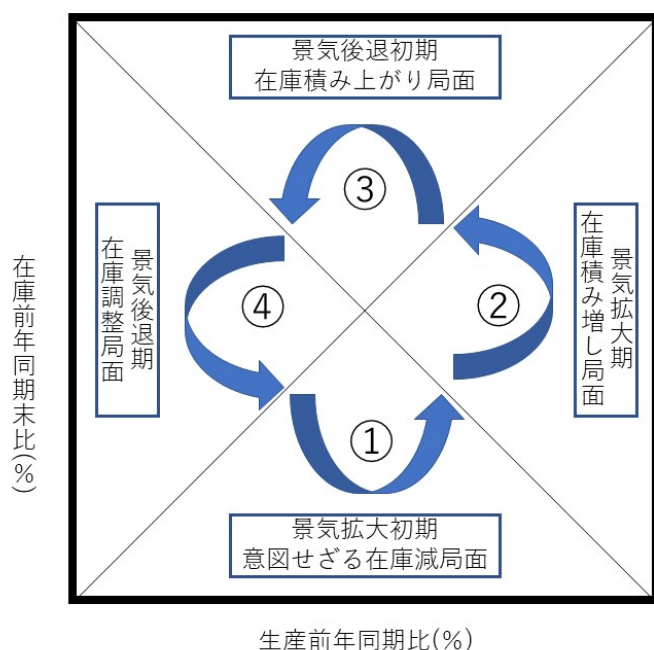
※業種は、生産、出荷、在庫の各指数の前年比に与える影響の大きいものから順に、上位3品目について記載

4 在庫循環図

令和7年（2025年）第1四半期は在庫積み増し局面（景気拡大期）、令和7年第2四半期は在庫積み増し局面から在庫積み上がり局面への転換局面となっています。令和7年第3四半期からは在庫調整局面に移行しました。令和7年第4四半期には再び在庫積み増し局面に移行しました。



(在庫循環図について)



(参考)

在庫循環図は、企業の生産と在庫の関係を示しています。在庫の変動は生産活動に大きな影響を与えるため、この図は景気の局面を判断する際に有効とされています。

一般的に、次の4つの局面を循環していくことになります。

- ① 景気拡大期に入り、増産しても需要に追いつかず一時的に在庫が減少する局面
- ② 景気拡大期が長くなり、需要増に備えて増産し、在庫を積極的に積み上げる局面
- ③ 景気後退期に入り、需要の減少速度に減産が追いつかず在庫が積み上がる局面
- ④ 景気後退期が続き、更に減産が進み、積み上がった在庫を減少させる局面

利 用 上 の 注 意 点

https://www.pref.saitama.lg.jp/documents/158083/r2_riyouchui.pdf

令和 8 年（2026 年）8 月発行

埼玉県総務部統計課 経済分析担当

〒330-9301 さいたま市浦和区高砂三丁目 1 5 番 1 号

TEL 0 4 8－8 3 0－2 3 2 7（直通）